

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 3 区分

【発行日】平成 18 年 6 月 8 日 (2006.6.8)

【公開番号】特開 2004-279029 (P2004-279029A)

【公開日】平成 16 年 10 月 7 日 (2004.10.7)

【年通号数】公開・登録公報 2004-039

【出願番号】特願 2004-196198 (P2004-196198)

【国際特許分類】

F 2 4 F 1/00 (2006.01)

F 2 5 B 1/00 (2006.01)

F 2 5 B 39/00 (2006.01)

F 2 8 F 1/00 (2006.01)

【F I】

F 2 4 F 1/00 3 9 1 B

F 2 5 B 1/00 3 9 5 A

F 2 5 B 39/00 E

F 2 8 F 1/00 B

F 2 4 F 1/00 3 9 1 A

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 4 月 18 日 (2006.4.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

冷凍サイクルの蒸発器または凝縮器に用いられ 2 列の伝熱管を重ねて形成された熱交換器を有し、送風機により室内空気を吸い込み、吹き出す室内機において、前記冷凍サイクルの作動流体は 2 種類以上の非塩素系フルオロカーボンを混合してなる冷媒とし、2 列の前記伝熱管のうち一方が接続された液冷媒側分配器と、他方が接続されたガス冷媒側分配器と、伝熱管の外部で伝熱管の軸方向に略垂直に配置されたフィンとを備え、前記伝熱管による前記冷媒を分配する多段のパスのそれぞれの長さは前記熱交換器の長さの略 1 往復分の長さであり、前記パスは前記 2 列のフィンを通り、空気の流れる方向に対して上流側の前記フィンに組み立てられた伝熱管が液冷媒側分配器に接続され、下流側の前記フィンに組み立てられた伝熱管がガス冷媒側分配器に接続されたことを特徴とする室内機。

【請求項 2】

請求項 1 において、前記 2 列の前記伝熱管を冷媒が通過するように前記伝熱管の同一段が接続されたパスを備えたことを特徴とする室内機。